

情報処理技法 (マルチメディアと表現)2

第10回 Webで役立つFlash

人間科学科コミュニケーション専攻
白銀 純子

Copyright (C) Junko Shirogane - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.



第9回の内容

- インタラクティブなFlash(続き)
- Webで役立つFlash
 - プルダウンメニュー
 - Welcomeアニメーション
 - Flash内へのテキスト表示

Copyright (C) Junko Shirogane - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.



Webで役立つFlash

Copyright (C) Junko Shirogane - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.



プルダウンメニュー

Copyright (C) Junko Shirogane - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.



作成手順(概要)

1. ボタンを必要な数だけ並べる
 - 1つがメニューを表示させるためのボタン
 - 他はクリックすると別のWebページを表示させるボタン
 - それぞれ違うボタンシンボルを使ってもOK
2. 1つのボタンに、クリックすると他のボタンを表示させる設定を記述
3. 他のボタンに、クリックすると別のWebページを表示させる設定を記述

Copyright (C) Junko Shirogane - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.



メニュー作成(プルダウン表示部分1)

1. ボタンシンボルを作成
 - 作成方法は、「Flashでボタン作成」の回の資料を参照
2. メニューバーの「編集」→「ドキュメントの編集」でもとのキャンバスにもどり、1. のボタンを1つ配置
 - 以降、このボタンを配置しているレイヤを「メニューレイヤ」と呼ぶ
3. 2. で配置したボタンを選択し、「プロパティ」ウィンドウで「インスタンス名」の欄に名前を入力
 - 半角英数で入力すること

Copyright (C) Junko Shirogane - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.



メニュー作成(プルダウン表示部分2)

4. レイヤを1つ作成し、2. で配置したボタンの上に、ラベル名を作成
 - ラベル名: ボタンの表示上の名前(日本語でも良い)
 - 以降、このレイヤを「ラベルレイヤ」と呼ぶ
5. レイヤを1つ作成し、このレイヤのタイムラインの1フレーム目を選択
 - 以降、このレイヤを「アクションレイヤ」と呼ぶ
6. メニューバーの「ウィンドウ」→「アクション」で、処理記述用のウィンドウを表示



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

メニュー作成(プルダウン表示部分3)

7. 6. で表示したウィンドウに、プルダウン部分を表示させる処理を記述

3. の手順でつけた「インスタンス名」の名前

```
stop();
this.XXXX.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goNext);
function goNext(e:MouseEvent):void {
    this.nextFrame();
}
```

リンク先

これにより、マウスクリックでプルダウン部分が表示

リンク先

東女
Yahoo!
Google



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

メニュー作成(プルダウン設定部分1)

8. メニューレイヤを選択し、タイムラインの2フレーム目でマウス長押し→「キーフレームの挿入」
9. メニューレイヤのタイムラインの2フレーム目を選択し、プルダウンメニュー部分のボタンを配置
 - 必要な数だけ配置
10. プルダウンメニュー部分1つ1つについて、プロパティウィンドウの「インスタンス名」欄に名前を入力
 - 半角英数で入力すること

リンク先

東女
Yahoo!
Google

プルダウンメニュー部分



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

メニュー作成(プルダウン設定部分2)

11. ラベルレイヤのタイムラインの2フレーム目でマウス長押し→「キーフレームの挿入」
12. ラベルレイヤのタイムラインの2フレーム目を選択し、プルダウンメニュー部分のボタンのラベル名を作成
13. アクションレイヤのタイムラインの2フレーム目でマウス長押し→「キーフレームの挿入」



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

メニュー作成(プルダウン設定部分2)

13. アクションレイヤのタイムラインの2フレーム目を選択し、プルダウンメニュー部分の動作処理を記述
 - 前半部分は、プルダウン部分を閉じる処理

3. の手順でつけた「インスタンス名」の名前

```
stop();
this.XXXX.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goBack);
function goBack(e:MouseEvent):void {
    this.prevFrame();
}

this.YYYY.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goToPage1);
function goToPage1(e:MouseEvent):void {
    var url:URLRequest = new URLRequest("ZZZZ");
    navigateToURL(url);
}
```

プルダウンメニュー部分の個数分だけ記述



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

メニュー作成(プルダウン設定部分3)

プルダウンメニュー部分をクリックして移動する先のURLまたはHTMLファイル名

```
stop();
this.XXXX.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goBack);
function goBack(e:MouseEvent):void {
    this.prevFrame();
}

this.YYYY.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goToPage1);
function goToPage1(e:MouseEvent):void {
    var url:URLRequest = new URLRequest("ZZZZ");
    navigateToURL(url);
}
```

9. の手順でつけた「インスタンス名」の名前



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

メニュー作成(プルダウン設定部分3)

プルダウンメニュー部分ごとに違う番号にすること
(ただし、同じプルダウンメニューでは同じ番号に)

```
stop();
this.XXXX.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goBack);
function goBack(e:MouseEvent):void {
    this.prevFrame();
}

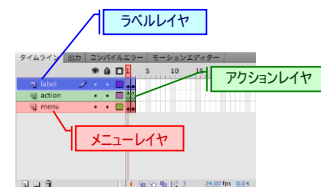
this.YYYY.addEventListener(MouseEvent.CLICK, goToPage1);
function goToPage1(e:MouseEvent):void {
    var url:URLRequest = new URLRequest("ZZZZ");
    navigateToURL(url);
}
```

リンク先
東女
Yahoo!
Google

Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.

メニューのレイヤ

○プルダウンメニューのすべての部分を作成・設定後のタイムラインの状態



Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.

Welcomeアニメーション

Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.

Welcomeアニメーションとは?

- Webページを表示するとすぐ流れるアニメーション
- アニメーションが終了すると、自動的に次のページに移動
- 多くの場合、「Skip」ボタンでアニメーションを飛ばすことが可能

○準備: HTMLファイルを2つ用意

- 1つ目: Welcomeアニメーションを表示させるHTMLファイル
- 2つ目: Welcomeアニメーションが終了した後に表示されるHTMLファイル
- 1つ目と2つ目のHTMLファイルは同じフォルダ内に置くこと

Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.

Welcomeアニメーション作成(1)

1. アニメーションを作成
 - 作成方法は、「Flashで簡単なアニメーション作成」の回の資料を参照
2. レイヤを1つ作成(以降、「アクションレイヤ」と呼ぶ)
3. 2. のレイヤのタイムラインで、1. のアニメーションが終了するフレームを選択
4. メニューバーの「ウィンドウ」→「アクション」を選択
5. アニメーション終了後に移動する処理を記述

```
var url:URLRequest = new URLRequest("XXXXX");
navigateToURL(url, "_self");
```

「準備」で用意した
2つ目のHTMLファイル名

Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.

Welcomeアニメーション作成(2)

○スキップボタンをつけるには?

6. Welcomeアニメーションのキャンバスにレイヤを1つ作成
7. 6. のレイヤにボタンを1つ配置
8. 7. のボタンを選択し、「プロパティ」ウィンドウの「インスタンス名」の欄に名前を入力
 - 半角英数で入力すること

Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University. 2015. All rights reserved.

Welcomeアニメーション作成(3)

9. アクションレイヤのタイムラインの1フレーム目を選択
10. メニューバーの「ウィンドウ」→「アクション」を選択
11. 表示されたウィンドウに、ボタンをクリックして移動する処理を記述

「準備」で用意した
2つ目のHTMLファイル名

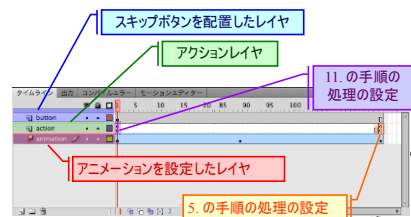
```
function jumpToMainPage(e) {  
    var url:URLRequest = new URLRequest("XXXX");  
    navigateToURL(url, "_self");  
} YYYaddEventListener(MouseEvent.CLICK, jumpToMainPage);
```

8. の手順でつけた「インスタンス名」の名前

Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

Welcomeアニメーションのレイヤ

- Welcomeアニメーションのすべての部分を作成・設定後のタイムラインの状態



Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

Flash内へのテキスト表示

Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

Flash内へのテキスト表示

- ファイルに保存された文章をFlashの中に表示
 - 文章の内容を変更したいときに、いちいちFlashを修正しなくて良い
 - ファイルに書いた文章だけ変更すれば良い
- 準備: 文章を書き込んだテキストファイルを1つ用意
 - ファイル名は半角英数で、文字コードはUTF-8で保存すること
 - メモ帳やテキストエディットなどのテキストエディタで作ること
 - テキストエディットは、「フォーマット」→「標準テキスト」を選択して、ただのテキストの入力モードにしてから文章を書いて保存すること

Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

テキスト表示(1)

- 「ウィンドウ」→「コンポーネント」→「User Interface」→「TextArea」を選択し、キャンバス上にドラッグ&ドロップ
1. のTextAreaを選択して「プロパティ」ウィンドウの「インスタンス名」の欄に名前を入力
 - 半角英数で入力すること
2. の「プロパティ」ウィンドウで「W」の欄にTextAreaの幅、「H」の欄に高さを入力
- 新しいレイヤを1つ作成し、そのレイヤのタイムラインの1フレーム目を選択

Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

テキスト表示(2)

- メニューバーの「ウィンドウ」→「アクション」を選択
- 表示されたウィンドウに、テキスト表示の処理を記述

「準備」で用意したファイルの名前

```
var fileSetting:URLRequest = new URLRequest("XXXX");  
var fileReading:URLLoader = new URLLoader();  
fileReading.load(fileSetting);  
  
fileReading.addEventListener(Event.COMPLETE, loadFile);  
  
function loadFile(e:Event):void {  
    this YYY.text = fileReading.data;  
}
```

2. の手順でつけた「インスタンス名」の名前

Copyright (C) Jinko Shimizu, Tokyo Woman's Christian University, 2015. All rights reserved.

テキスト表示(3)

7. 「チェック」ボタンを押すと、エラーがあるかどうかが表示

- タイムラインが表示されているところに新しいタブが追加され、表示される
- エラーがあれば修正する(エラーの先頭にある数字が、エラーが存在する行番号なので、その行をよく見ること)



8. 一旦「.fla」形式でファイルに保存し、「制御」→「ムービープレビュー」で動作確認

- 「準備」で用意したファイルと同じフォルダに保存すること
- 動作確認時にも、エラーが出ることもあるので、その場合はまた修正すること



Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

25

第1回課題

○授業のページからアクセス可能



Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

26

次回と次々回

○次回: 1月15日 3限9302教室

○第2回作品発表

○次々回(補講): 1月20日(水) 3限9304教室

○Flash作成の課題の質問受付



Copyright (C) Junko Shimizu - Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

27